

島根大学のタディ(おとうさん)を応援するニュースレター

## シマダディ

島根大学男女共同参画推進室



男性も女性も働きやすい社会のために～アイスランド訪問から～

9月初めにジェンダー・ギャップ指数世界一（注：男女格差の少なさを表す。日本は2015年145か国中101位）のアイスランドで、一般家庭を訪問しました。私が訪問したご家庭は、科学者の父親、作業療法士の母親と子ども2人の4人家族で、母親がいろいろお話をして下さる間、突然の訪問者に毛布をかぶって恥ずかしがる子どもたちにお菓子を与えたり声を掛けたりしていたのは父親でした。

アイスランドでは、母親4か月、父親4か月、どちらか3か月の合計11ヶ月間育児休暇が取得でき、さらに休暇期間中は80%の給料が保障されています（2015年現在）。父親に与えられた期間を母親に譲渡することは認められていないため、8割もの男性が育児休暇を取得しているそうです（日本は2.7%）。お会いした父親は3か月取得したそうで、「育児休暇中は大変だった！」

と言っておられましたが、そのような仕組みがあり小さい頃から子育てにかかわっていることで、子どもがぐずった時や病気の時にも世話することができるのでしょうか。女性が安心して働き続けるために、家庭における夫の育児参加は必要不可欠だと思いました。

島根大学においても、すべての構成員が働きやすい職場環境の整備を目指しています。

学長特別補佐（男女共同参画担当）  
河野美江



## 第3回：医学部 山上先生の「シマダディ」生活について伺いました



医学部医学科整形外科学教室 助教

山上 信生 先生

平成23年より島根大学医学部の整形外科学教室にて勤務。家庭では1男2女の父として子育て奮闘中。

平成23年 4月から、島根大学医学部の整形外科教室で勤務しています。

8歳、5歳、2歳の子どもがいて、妻をはじめ両親、姉、同僚の助けを借りながら、子育てを頑張っております。

家では子どもを叱ってばかりで、イクメンと呼ばれる資格があるかどうか分かりませんが、本誌に掲載していただけることになりました。今後ともよろしく願いたします。

裏面ページでは、そんな山上先生に3つの質問にこたえていただきました。

さらに、読者のみなさまにも逆に山上先生から質問があります。→詳しくは裏面をご覧ください。

3人の子どもは、元気いっぱいですぐにどこかに行ってしまう。これは動物園での写真ですが、この日も迷子になりそうで大変でした。



ここからは男女共同参画推進室からの質問に答えていただきます！

### 質問1： 家庭では、子育てにどのような場面で関わっていますか？得意な家事があればおしえてください。

妻も外科系の医師として働いているので、2割くらい（妻の評価では1割）は家事をしています。子どもをお風呂に入れるなどの入浴担当です。子どもは1人のときもあれば3人全員入浴させることもあります。あと、洗濯もします。料理はあまりしません。だから、得意な家事は子どもをお風呂に入れることと洗濯ですね。

### 妻・育子さんからのメッセージ

毎日の家事・育児に対して正直うんざりするときもありますが、忙しい時間帯（朝晩）に協力してくれる同志がいることを幸せに思います。一人でこなすには限界があるので、夫には本当に日々感謝しています。最近はときどき料理にも挑戦してくれているので、今後は楽しみです。



### 質問2： 仕事と家庭の両立で悩んだことがありますか？また、そのときどうしましたか？

入浴担当なので、19：00頃には自宅に帰ることを目標にしています。しかし、手術が長引いたり、緊急の症例があったりでなかなか思うようにはなりません。わが家は、17：00以降に仕事が入った場合、妻より私優先にさせてもらっています（ご夫婦ともに17：00以降に仕事が入った場合

は、夫が仕事、妻が家庭とされることがほとんどで、お二人ともご帰宅できないようなときはご両親にお願いされるようです）。いつもは仕事に区切りをつけて19：30頃に家に着きますが、仕事が終わらなかった場合は、やむなく同僚に仕事をお願いしたりといったこともあります。

私の自由な時間は、朝5：00～6：30であり、主にそこで残った仕事をしています。朝早くに大学に来ることもあるし、または自宅ですることもあります。これは子育てが始まってからの発見ですが、朝早い時間帯で仕事をすると、とても能率が良いですね。頭がすっきりしているし、周りも静かなので集中しやすいです。



### 山上先生から質問

朝忙しいときに、子どもが起きなかつたり、起きても着替えをしてくれなかつたりします。そういったときには、叱っても余計にやる気をなくして、まったく解決しません。そんなとき、みなさんはどうしていますか？

読者のみなさまから  
お返事を募集しています！  
男女共同参画推進室HPに  
アクセスしてお返事下さい！



### 質問3： 子育てをされていて幸せだなと感じることや感動体験はありますか？また、最近一番印象に残っているご家庭のお話をお聞かせください。

保育所や学童保育にお迎えに行くと喜んで自分のところまで走ってきてくれることに喜びを感じたり、感動したりしています。

今年の夏休み、小学生の長女（一番上）は、夏休みの自由研究に「ほねの研究」をしてくれました。私が整形外科医で普段骨折の治療に携わっていることを、娘はよく知っているようで、興味を持ってくれたんだと思います。

【お返事はこちらへ投稿】

男女共同参画推進室メール  
kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp

### 編集後記

今号で取り上げたアイランドでは、父親の育児に対する支援体制が整っていて、父親の育児参加が社会で広く認められているのだと感じました。今回取材にご協力いただいた山上先生のように、日本でもイクメンが増えつつあると思いますが、イクメンを支援する社会の環境がまだまだ不十分だと思います。「制度があっても使えない」という声をよく耳にしますが、シマダディが、そのような雰囲気を変えたいというきっかけとなれば幸いです。（R. T）

島根大学男女共同参画推進室  
〒690-8504  
島根県松江西市川津町1060番地  
Mail: kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp  
HP: <http://gender.shimane-u.ac.jp>



「シマダディ」に対するご意見やアイデアをお寄せ下さい。また、質問へのお返事もお待ちしております。みなさまからのご意見やアイデアを集約し、イクメン・イクボス アイデア集として誰でもアクセスできるようにしていきます。  
シマダディ特設サイト: <http://gender.shimane-u.ac.jp/docs/index.php/doc3/newsletter>